

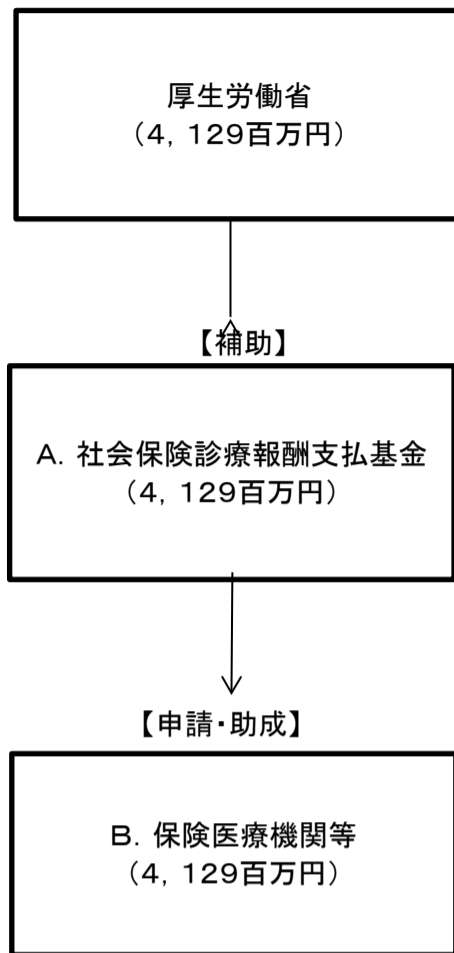
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療施設等設備整備費補助金		担当部局庁	保険局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成21年度 終了年度：平成22年度		担当課室	総務課 保険システム高度化推進室		北澤 潤			
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・平成21年度医療施設等設備整備費(レセプトオンライン化設備整備事業)の国庫補助について(厚生労働省発保1028第1号) ・平成21年度医療施設等設備整備費助成事業の実施について(発保1028第1号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険医療機関及び保険薬局において電子レセプトを作成するために準備する設備整備等に係る費用に対し補助を行うことにより、電子レセプトの推進を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・保険医療機関及び保険薬局が行う、レセプト電子化を実施するためのレセプトコンピュータの購入又は買い換えに対し、社会保険診療報酬支払基金が行う助成事業。(負担割合:国=1/2、保険医療機関・保険薬局=1/2) ・保険医療機関が行う、レセプト電子化を実施するための電子レセプト作成のために必要なソフトウェアの導入、既存レセコンに内蔵のソフトウェアの設定変更又は傷病名コード整理等の諸設定に対し、社会保険診療報酬支払基金が行う事業。(負担割合:国=1/2、保険医療機関・保険薬局=1/2) ※平成21年11月の事業仕分けにより、平成22年度予算計上を見送るとともに、平成21年度補正予算を減額している。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算		28,974					
		繰越し等		△ 9,346		4,129			
		計		19,627	4,129				
	執行額			11,000	4,129				
	執行率 (%)			56.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	保険医療機関等、審査支払機関及び保険者を通じた電子レセプトの請求について原則電子化を目指す(平成26年度末)。			成果実績	機関数	-	109,766	143,132	-
				達成度	%	-	49.6	64.9	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令に基づき、保険医療機関等のレセプトの電子化を促進することで、レセコン購入助成事業及びソフトウェア導入等助成事業の助成を受けた保険医療機関等数を記載。			活動実績 (当初見込み)	機関数	-	23,847	10,025	-
						-	(26,890)	-	(-)
単位当たりコスト	(446,644円/1保険医療機関)			算出根拠	単位当たりコスト=執行額/助成を受けた保険医療機関数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成21年11月の事業仕分けにおいて、医療業界のみの支援には問題があること。レセプトの電子化は、医療機関にとっての本来的な業務なので、ハード機器の更新時期にあわせて自ら行うべきであって、国が助成する対象としにくい。との指摘を受けている。
	△	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	平成21年11月の事業仕分けにおいて、補助対象経費の見積が、業界よりであり、市場の適正価格になっていない。コストは、競争入札などで価格を決定すべきとの指摘を受けている。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業仕分けの指摘を踏まえ、23年度より廃止。		
予算監視・効率化チームの所見			
－			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け第1弾「事業番号2-2 レセプトオンライン導入のための機器の整備等の補助」 第2WGの評価コメント「予算計上見送り」 とりまとめコメント「来年度の予算計上は見送り」と結論づける。理由は次のとおり。補助金の額、対象、値段があいまいであること、1/2の補助率の根拠が不十分なこと、補助金以外のインセンティブ(診療報酬による方法等)の検討が不十分なことである。」</p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

- ・保険医療機関及び保険薬局が行う、レセプトオンライン火を実施するためのレセプトコンピュータの購入又は買い換えに対する助成事業
- ・保険医療機関が行う、レセプトオンライン火を実施するための電子レセプト作成のために必要なソフトウェアの導入、既存レセコンに内蔵のソフトウェアの設定変更又は傷病名コード整理等の諸設定に対する助成事業

A.社会保険診療報酬支払基金			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
レセコン購入 助成事業費	レセプトコンピュータの購入又は買い 換えに対する助成金	3,468			
ソフトウェア導 入等助成事	ソフトウェアの導入、既存のレセプトコン ピュータに内蔵の諸設定等に対する助成	661			
計		4,129	計		0
B.A病院			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
レセコン導入 助成事業費	レセプトコンピュータの購入又は買い 換えに対する助成金	2.5			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A. 社会保険診療報酬支払基金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会保険診療報酬支払基金	電子レセプトを作成するために準備する設備整備等に係る費用に対する助成金	4,129		

B. 保険医療機関等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A病院	電子レセプトを作成するために準備する設備整備等に係る費用に対する助成金	2.5		
2	B病院	"	2.5		
3	C病院	"	2.5		
4	D病院	"	2.5		
5	E病院	"	2.5		
6	F病院	"	2.5		
7	G病院	"	2.5		
8	H病院	"	2.5		
9	I病院	"	2.5		
10	J病院	"	2.5		